

みんな元気に「輝いて生きる」。それが私達の願いです。

# Mirai News

vol.87 2019.3.1発行

発行:社会福祉法人 名張育成会 広報委員会  
〒518-0615 名張市美旗中村2326  
TEL 0595-65-0271 FAX 0595-65-2936  
発行責任者:市川知恵子  
編集責任者:宮田義則  
編集長:佐伯典昭(株式会社サンエイ)  
編集デザイン主任:新井知子(株式会社サンエイ)  
題字:千秋育子

Information

ツイッターで採用情報や取組みを発信しています。



リアルタイムなホット情報や、オンライン職場説明会の情報もありますよ!! ブログとともに、宜しくお願ひいたします。

@ikuseikai\_saiyo



## 子どものために「遊び」を「学ぶ」

「遊び」について保育士や先生が一緒になって学ぶ、どれみ主催の「あっとほーむ」

名張市百合が丘西にある児童発達支援センターどれみが、近郊の保育施設、幼稚園に伺い、子どもの発達について相談を受ける中で考え、始めた「あそびの研究会」。開始5年目となる今年度から、

実技と理論を隔月ごとに行い年6テーマを学ぶ「あっとほーむ」として再スタート。現在、20施設62名が登録し、毎回たくさんの先生が参加して盛り上がっています。



今年度最後のテーマは「紙あそび」。色々用意した紙からグループごとに好きな紙を選び、どんな「遊び」ができるか部屋いっぱいに試してみました。

色紙や折り紙といった遊びに使う紙から、トイレットペーパー やティッシュなど生活必需品、また新聞やチラシなど情報を伝える紙まで用意しました。まずグループごとに選んだ紙とその理由をまとめました。すると色々な意見が! 「ティッシュ…一番弱い」「色画用紙…色がかわいい」「チラシ…色々な色に溢れている、紙に光沢感がある」「新聞…触り心地、触ると音がする」など。なるほど! そしてその紙を使って、好きなように遊んでみました。

新聞紙で衣装を作った!



- ・文字が模様になっておもしろい柄になった
- ・擦れる音がロボットみたい



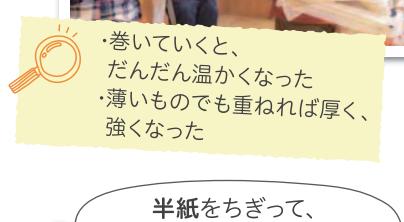
トイレットペーパーで縄跳びをしてみた

- ・軽いので回すのが大変、跳ぶタイミングが難しいので新しい遊びみたい
- ・当たっても痛くないから怖くない



部屋中、トイレットペーパーを延ばしてみると

- ・宇宙基地みたいになった
- ・歩いた跡が残り、交差したり結んで長くしたり立体的に考えられた



- ・巻いていくと、だんだん温かくなった
- ・薄いものでも重ねれば厚く、強くなつた

色画用紙をひたすら折ってみた



- ・大きなものも小さくできるし、柔らかいものが固くなつた
- ・大きいと軽いのに、小さくすると重くなる気がした



半紙をちぎって、誰が長くなるか競争してみた

身近にある紙ですが、目的を超えて使ってみると様々な発見がありました。私たち大人は視覚や用途などに左右されますが、既成概念に左右されない子ども達は、五感全てを使って何でも試し、そこで色々な発見をします。先生方が子どもの自由な発想を体験することで、大人になって埋もれていたモノが吹き返したようですね。改めて子どもの発想がステキに思えました!

取材:広報委員会

## 「あっとほーむ」家庭版

小さい子になったつもりで、「箱ティッシュ」で遊んでみると…

次から次へ早くティッシュを抜き取る



吹いてみる



破ってみる



放り投げてみる



他にも、色々楽しめることができました。ところで、ハイハイしだす頃の子はティッシュ遊びが大好きです。「つかみやすい」「手触りがいい」「力が要らない」「不思議な箱」など。でも気が付けば部屋はティッシュだらけ。思わず「ダメ!」と止めてしまいませんか? もし小さい子がおられれば、たまには目をつむり好きなように遊ばせてあげましょう。

「ティッシュでケガをする」そんなことはないのですから!

